

# らいてうの家 通信 35号

・・・平和・協同・自然のひろば・・・

2015.1.1

らいてうの家 〒386-2201 長野県上田市真田町 長十の原 1278 ☎fax : 0268-74-1385

NPO 平塚らいてうの会 〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F ☎fax : 03-3818-8626

9月28日(日)長野県母親大会見学分科会 45人 訪れる



本年度の長野県母親大会が上田市長野大学で開かれた。午前中 45 人の方が見学分科会用バスで現れ、米田館長から「らいてうの平和思想と現代」についての話をさせていただきました。大いに共感をしていました。昼食はコラボ食堂の 500 円弁当を用意させていただきましたが、その安さとおいしさと安全性に満足していただけたようです。

## 森の講座Ⅱ

10月5日(日)の笹刈りは雨で中止。でもおいしいカレーはしっかりといただき、熊崎林業士の

樹を育てるお話もお聞きすることができ満足でした。

翌6日(月)は「大笹街道を極めよう」の講座。

15名参加で →北国街道→ 大笹街道→ 上州街道を 上田駅から出発して郷土史家坂口益次先生の案内で回りました。途中、坂城の街道筋にあった昔の蚕種問屋の家を見せていただくこともでき、大谷不動の黒門のある街道も歩き、台風情報の中何事もなく街道めぐりは終了しました。



10月19日(日) 昔話りの会

「十辺舎一九の 続膝栗毛『上州草津温泉道中記』から見た大笹街道」

6日(月)に歩いた大笹街道の地名に沿って弥次さん北さんが旅をする。

しかも十辺舎一九はとてもよく取材しており、このあたりの方言がうまく会話の中に取り込まれている。その「膝栗毛」を坂口益次先生が印刷してくださり皆で読みあった。十返舎一九(1765~1831)は江戸後期にはじめて原稿料だけで生活できた作家とされています。改めて読んでみるとテンポよく滑舌よく面白く、大勢の庶民が寺子屋のおかげで文字を読めるようになった江戸中期にふさわしい戯作者であったと納得しました。箕輪町からの団体 14 人の参加もあり、26 人で楽しくお聞きしました。





11月4日(火) 大掃除 5日(水)ワックスがけ  
あずまや高原にもこがらしが吹くようになり、いよいよ閉館。東京から10人程。地元から15~6人が集まって大掃除とワックスがけ。そして大反省会を例年のごとく開催しました。そこへなんと最高齢の方が「わたしも掃除をします」とエプロン持参で飛び入り。壁や家具に蜜蝋ワックスをかけて大働きをされました。大阪堺の山田さん夫妻はその前の当番から1週間も参加されて板戸や橋の補修やワックスがけをしてくださいました。全く頭が下がりますがお二人ともご高齢になり、あまり無理はできなくなりました。

来年からはどうしたらよいでしょう。お昼にはご飯も炊いたのですが竹内さんや半沢さんのおやきマツタケご飯等の差し入れがあり、みんな大喜び。働いた価値があったようです。

### 6日(木) 展示物取り外し

今年の展示物を外し丁寧に箱へしまいました。

来年は4月25日(土)開館です。

それまで冬眠に入ります。

入口に冬眠中の看板をだし雪よけをつけました。

これで来年までさようならです。

また元気で逢いましょう。



…と別れたのですが、実は笹刈りをしてなかったので来年のためにそのあとらいてうの森と庭の笹刈りを2日もかけてしてくださった方々がいらっしゃいます。藤松美喜子さんご夫妻と堀口正子さんです。おかげで来年はあまり笹に悩まされなくていいでしょう。みなさん、よいお年を・・・

### 来館者の手帳より

8月4日(月) ホテルからの散歩の途中 何もわからずに見学させていただきました。木のぬくもりいっぱいので、らいてうの説明を丁寧にいただき、今、どうなっていくんだろうと不安な日本に、戦前から自らの考えをもつ女性がいたことを知ったのは、私にとって大切なことでした。

テラスでお茶をいただき、鳥の声と風に癒されました。ありがとうございます。仙台市 Sさん

8月17日(日) らいてうとの出会いは、20才になる前に手にした1冊の本でした。少女のころからの憧れの人、尊敬している女性です。目標があること、人生の指針があることはとても大切なことだと年を経るにつれて実感となってきました。決して超えることのできない存在ですが、らいてうに魅了された一人として考え・行動し、この天才を開花させたいと願っています。狂おしいほどに。

柏市。Uさん